

## 平成31年度全国学力・学習状況調査の結果

小学6年生と中学3年生を対象に4月18日（木）に行われた、平成31年度全国・学力状況調査の結果が発表されました。小学校の国語と中学校のすべての教科（国語・数学・英語）において、全国及び県の平均を上回ることができました。特に、中学校では県内でもトップクラスの成績を修め、鹿嶋っ子の学力が着実に向上していることが分かりました。

### 【教科に関する調査から】

	教科	全国及び県平均との比較
小学校	国語	大きく上回っている
	算数	平均並みである
中学校	国語	大きく上回っている
	数学	大きく上回っている
	英語	大きく上回っている

教科		○成果と●課題
小学校	国語	○自分の理解を確認するために質問したり、目的に応じて質問を工夫したりすることができました。 ●目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことに課題が見られました。
	算数	○性質、特徴に着目して、自分の考えを見いだすことができました ●友達などが示した求め方や計算方法の意味を解釈することに課題が見られました。
中学校	国語	○話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもったり、伝えたい事柄について根拠を明確にして書いたりすることができました。 ●宛先や宛名を封筒に書くことについての正しい理解に課題が見られました。
	数学	○新たな事柄を見いだして説明したり、事柄が成り立つ理由を説明したりすることができました。 ●学んだことを実際生活で活用する場面で課題が見られました。
	英語	○「聞くこと」と「読むこと」がよくできました。 ●把握した内容や与えられたテーマについて自分の意見や考えを英語で書くことに課題が見られました。

### 【質問紙調査から】

小学校では、「教師から良いところを認められる。」「教師はわからないところを教えてくれる。」「物事を最後まであきらめずにやり遂げることができる。」「失敗を恐れずに挑戦することができる。」「学級の仲間と協力できる。」などに、肯定的な回答をした児童が多く、「学校が楽しい」と感じている児童が多くいました。

中学校でも「先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか。」との質問に肯定的な回答をした生徒が多くいました。また、学校の規則を守ったり、諸課題についてクラスで話し合っ解決したりするなど、よりよい学校生活に向けての意識をもつ生徒が多くいました。